

広報

明るく元気の出る町

平成11年5月1日発行・毎月1日 編集・発行/秋田県東由利町役場企画課

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1999

NO.530

ぼくらの夢のせて
大人になる頃、ハ塩は黄桜いつぱい！

第50回秋田県
植樹祭
平成11年5月13日(木)午前10時
会東由利町八塩いこいの森(地内)

テーマ
育てよう地球の命と未来の夢を

いこいの森のついでに
いこいの森のついでに

Akita Prefecture Green Day 1999



貴重な一票 本町投票率は75・99%

四月十一日、秋田県議会議員一般選挙の投票が町内十二投票区で行われ、有鄰館で即日開票、由利郡では佐藤健一郎氏、長谷部誠氏、村上薫氏の三氏が当選を果たしました。

なお、本町の投票率は七五・九九%（県平均投票率七四・七〇%）でした。



各候補者出身地で高い投票率

秋田県議会議員一般選挙

今回の選挙では由利郡で定数三に対し六氏が立候補しました。本町の各候補の投票結果は届け出順に市川雄次氏三十一票、村上薫氏百八票、佐藤健一郎氏千六十三票、長谷部誠氏七百六十四票、渋谷正敏氏八百四十票、斎藤作円氏三百四十七票という結果でした。

本町の投票率は、選挙管理委員会の熱心な棄権防止への取り組みや、不在者投票の要件緩和（時間延長、印鑑不要、不在理由の緩和）等もあり、七五・九%と、昨年の七月に実施された参議院選挙の投票率（七二・一四%）を三・八五ポイント上回りました。

また、県平均投票率は七四・七〇%、由利郡各町の平均投票率は八三・五五%でした。

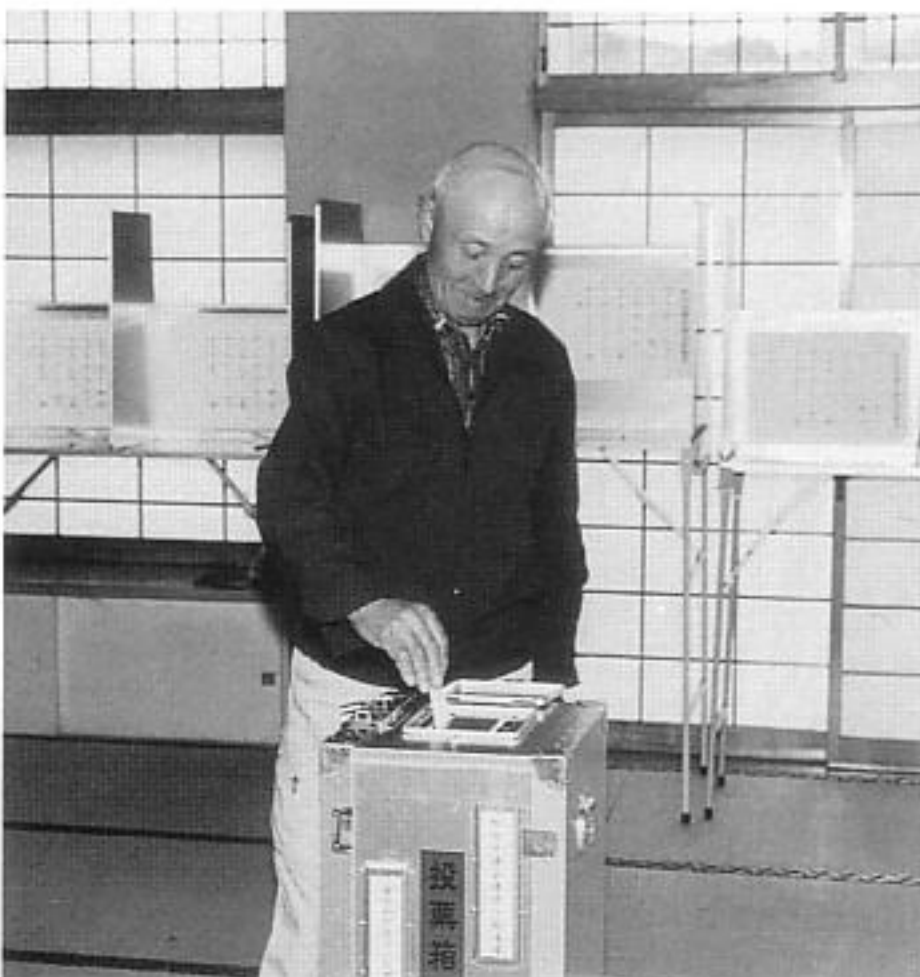
今回の結果について町選挙管理委員会では「今回の選挙は、

本町の各投票区別投票結果

投票区	当日有権者数	投票者数	投票率(%)
第1(黒淵)	325	227	69.85
第2(田代)	302	240	79.21
第3(袖山)	154	130	84.42
第4(館合)	862	629	72.97
第5(松柴)	63	51	80.95
第6(老方)	842	629	74.70
第7(祝沢)	41	35	85.37
第8(法内)	348	261	75.00
第9(蔵)	581	445	76.59
第10(黒沢)	69	56	81.16
第11(大琴)	529	422	79.77
第12(杉森)	69	56	81.16
計	4,186	3,181	75.99

候補者の出身地と関わりの強い地域で関心度が高いという結果になった。

本町の場合、四人に一人が棄権しているわけで、いかにこの棄権者を投票に引きつけるかが、大きな課題。今後の選挙では啓発のあり方について再検討がせまられる」としています。



▲貴重な一票が投じられる（第11投票区）

62 自治会長が町当局と意見を交換

四月二十三日、有鄰館で平成十一年度の自治会長会議が行われ、各自治会長の皆さんが一堂に会しました。自治会長会議は、町当局と自治会の代表である自治会長が、地域の問題や意見を話し合い、よりよい町を作ろうと毎年行われている会議です。

会議に先がけ、優良納税組合表彰、明るく元気の出る活動推進団体表彰などが行われました。

表彰後の会議では、まず阿部幸悦町長が、平成十年度町政報告、平成十一年度の町主要施策についての説明等を行い、施策に対する予算執行について理解と協力を求めました。

引き続き、阿部剛議会議長の祝辞、各担当課長が本年度実施事業内容等、町からの協力依頼事項について説明しました。

意見交換では、各自治会長の皆さんが町当局と直接意見交換を行いました。

行政に対する日頃の疑問、要望、地域がかかえる問題など、自治会長からは率直な意見が出され、短いながら充実した自治会長会議になりました。

自治会長の皆さんは今年一年、町と各自治会の皆さんをつ

なく役割を担っていただくことになりました。

なお、会議に先がけ行われた各表彰での表彰者は次のとおりです。(敬称略)

▼優良納税組合表彰
町長表彰(連続完納・二年連続) 八日町、寺田、岩館、新

処各納税貯蓄組合
▼町納税貯蓄組合連合会長表彰
松柴、小倉各納税貯蓄組合
▼明るく元気の出る活動推進団体表彰

八塩げんきクラブ
▼善行奨励表彰
老方館管理人 森川昭晃



▲町に直接意見を述べる自治会長



▲町長から表彰された寺田納税貯蓄組合

第四回 議会臨時会

四月十五日招集

第四回議会臨時会が四月十五日に招集され、東由利町固定資産評価審査委員会委員の選任など七議案を原案どおり可決しました。主な内容は次のとおり。

■議案第一号 平成十年度東由利町一般会計補正予算(第九号)の専決処分の承認を求めることについて 一億七千九百三十万円を追加、歳入歳出予算の総額はそれぞれ四十九億二千八百四十一万円。

■議案第七号 東由利町固定資産評価審査委員会委員の選任 畠山淳悦氏を選任。

よりよい町づくり話し合う

平成11年度 自治会長会議



平成十二年四月から介護保険スタート

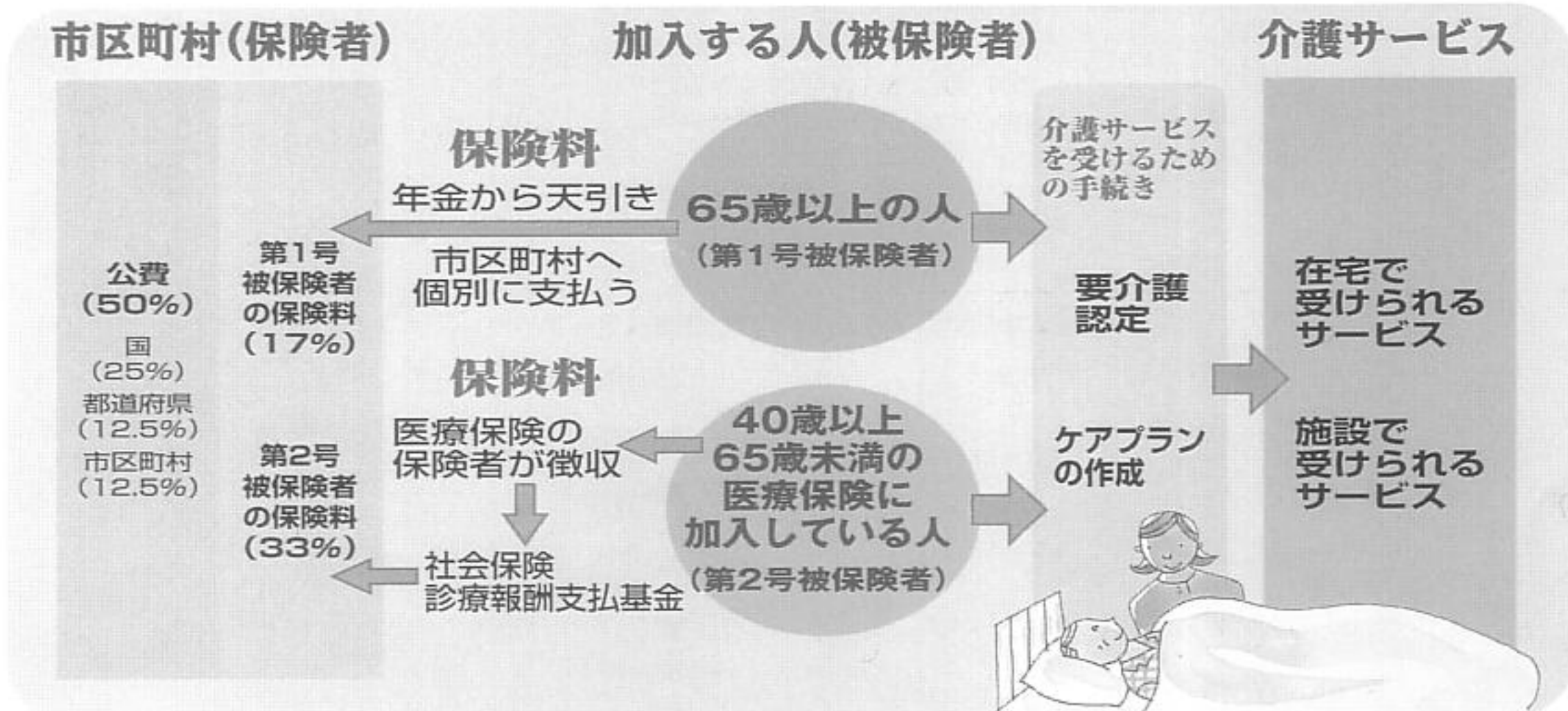
本格的な高齢化が急速に進んでいる現代。介護を必要とするお年寄りは今後急速に増え、「お年寄りがお年寄りを介護する」時代になります。介護の問題はみなさんの問題になってくるのです。

介護保険制度はそんな将来の不安をなくして、社会全体で介護をささえていく仕組み。四、五面で制度のしくみ、手続き、サービスの種類の概略を解説します。

■介護保険制度のしくみ■

寝たきりや痴呆などで常に介護が必要となったり、日常生活に支援が必要となったときには、介護保険からサービスを受けることができます。

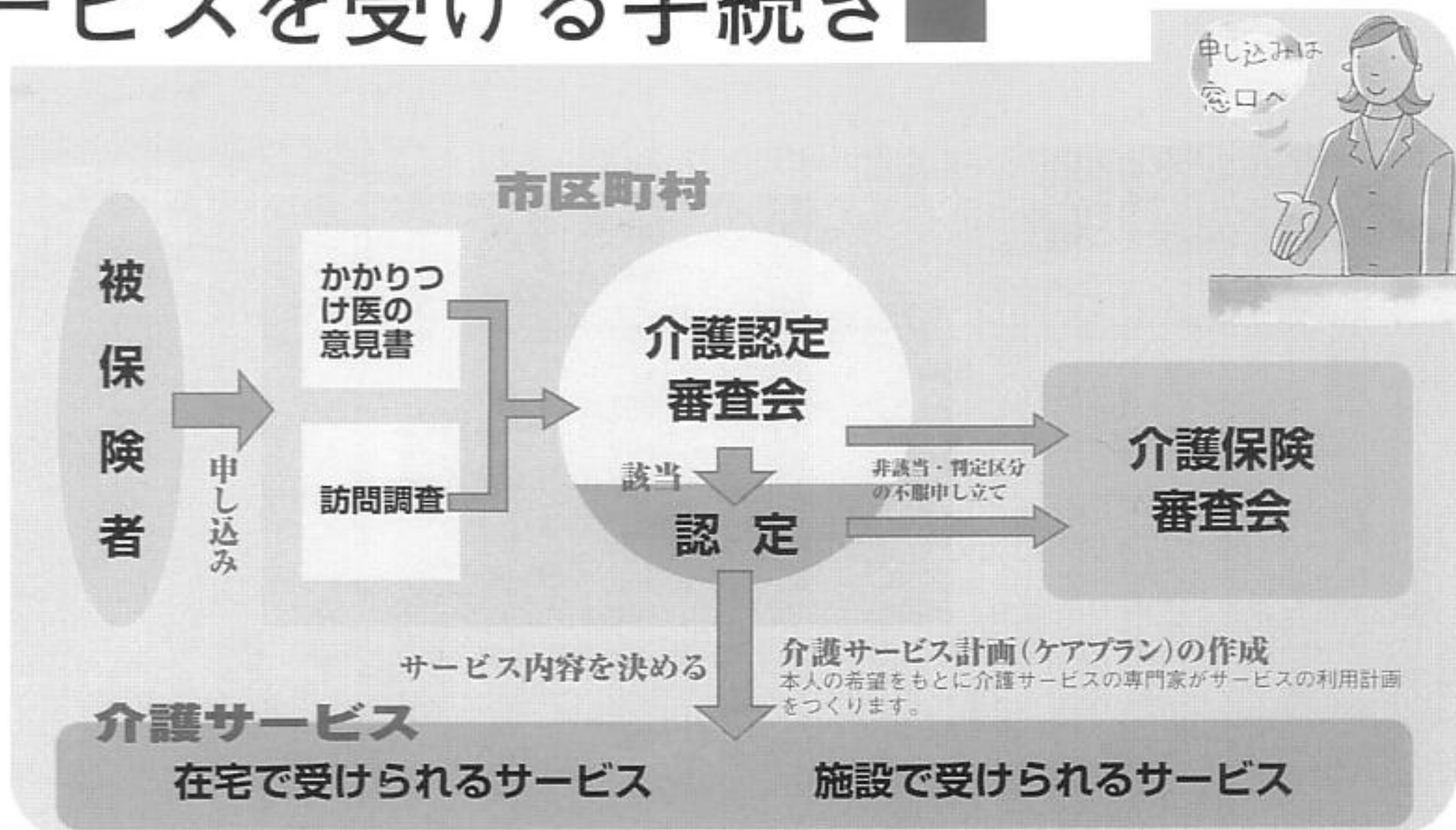
	第1号被保険者	第2号被保険者
対 象 者	65歳以上の人	40歳以上65歳未満の医療保険に加入している人
サービスを受けられる対 象 者	・寝たきりや痴呆などで入浴、排せつ、食事などの日常生活動作について常に介護が必要な人 ・家事や身仕度などの日常生活に支援が必要な人	・初老期痴呆、脳血管障害など、老化にともなう病気によって介護などが必要となった人
保 険 料	所得段階に応じて市町村ごとに定額が決められます。	加入している医療保険の計算方法をもとに決められます。
利 用 料 金	費用の1割を支払います。施設に入る場合には食事代の一部（標準負担額）も支払います。1割の利用者負担が高額になる場合自己負担額の上限が設けられます。	



■介護サービスを受ける手続き■

介護保険の介護サービスを受けたいときは、町の担当窓口に申し込みます。さまざまな調査をして「認定」された場合に介護サービスを受けることができます。

調査結果などに疑問があるときはもう一度審査してもらうことができます。



介護保険で受けられるサービスの種類

サービスの種類	サービスの主な内容	短期入所 療養・介護	介護老人保健施設などに短期入所して、 医療的管理のもとで介護
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	ホームヘルパーが家庭を訪問、 介護や家事などの身の回りの援助	日常生活用具貸付と購入	車いす、特殊ベッド等福祉用具
訪問入浴介護	巡回入浴車で家庭を訪問し入浴介護	住宅改修費の支給	家庭での手すりの取り付けや段差の解消 等の小規模な改修の費用を支給
訪問看護	看護婦や保健婦が家庭訪問、介護支援	痴呆の要介護者のための グループホーム	共同生活を送る痴呆性高齢者に対し介護
訪問リハビリテーション	理学療法士や作業療法士が家庭で 心身の機能を維持回復させる訓練を指導	特定施設入所者生活介護	有料老人ホーム等の介護サービスも対象
訪問診療 (居宅療養管理指導)	医師、歯科医師、薬剤師などが家庭訪問 療養上の管理や指導	介護老人福祉施設	日常生活で常に介護が必要で 在宅での適切な介護が困難な場合に入所
通所介護(日帰り介護)	デイサービスセンターで入浴、食事、機能訓練	介護老人保健施設	病状安定、家庭に戻るよう、リハビリ 中心の医療ケアと介護を行うため入所
短期入所生活介護 (ショートステイ)	介護を必要とする高齢者等を特別養護 老人ホーム等で短期間入所させて介護	介護療養型医療施設	長期間の療養や介護が必要な場合入院
通所によるリハビリテーション	医療機関等で入浴、食事介護、機能訓練		

町長日記

平成十一年度

自治会長会議

春先のお忙しい中、平成十一年度の自治会長会議を議長さんはじめ大勢のご来賓に出席を願い、開催致しました。

はじめに、恒例になっております優良納税組合の表彰を行い、地域活動で頑張ってもらった八塩げんきクラブ、老方館の管理で家族ぐるみで苦勞されている森川昭晃さ

んへ表彰をさせてもらい、会議が始まりました。

まず、私から町政報告や今年の町づくりについて申し上げ、その後、各担当課長から各課事業のお知らせとご協力願いたいという順序で会議が進んだことです。

今年の自治会長研修は町外研修ということになりますので、四月開学の県立大学「本荘校」や広域のゴミ焼却場の見学を予定していることなども担当課長から申し上げたことです。

また、各自治会長さんから事前に出されていた要望や質

問については、その自治会に限るものについては答弁

書を当日の自治会長さん宛の配布袋に入れてお答えをし、全体にかかわるものについては私から、また担当課長からその場でお答えをすることを通例にしております。

今回は、役場の建設時期について、旧館合小学校の三階建て跡地の整備についての質問、また法内地区のテレビ難視聴地区解消についての要望に対し、私から、また担当課長から考え方を申し上げました。

まず、役場の建設の時期

については「今のところ平成十二年度に用地の確保を図り、十三年、十四年度には建設ができればと考えている。仰ぎ見るような建物を、といわれる向きもあるが、役場という事務所でないのか」と思っている、また、三階建て跡地については「冬の雪捨て場にして欲しいという意見が多いが、少々時間をかけて意見を集約してから整備に入りたい」とそれぞれ申し上げました。

法内地区の難視聴解消については「法内地区全体で取

り組めば、効率の良い補助

事業で整備ができるのでご協力をいただきたい」と担当課長から申しげました。その場でもいろいろな要望や意見が出されて活発な会議になりました。来年はもう少し意見交換に時間を取ってほしいというご意見を最後に会議が終わったことです。その後の直会も時間の許す限りということでした。

今年もまた自治会長の皆さんにはお世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

健康ウォークマラソン

健康ウォークマラソン

とき 平成11年5月16日(日)
ところ 東由利町 八塩いこいの森

●受付/午前 9時～午前9時50分
●開 始/午前 9時50分～午前10時10分
●開 会 式/午前10時～午前10時15分
●スタート/午前11時
●申込締切/平成11年5月7日(金)

主 催/(財)健康保険加入者協会 東由利町 東由利町教育委員会
後 援/東由利町公民館 東由利町体育協会 東由利町観光協会 老方・寄・玉米郵便局
主 管/東由利町陸上競技協会 東由利町体育指導員連絡協議会

●お問い合わせ/東由利町教育委員会 TEL 0184-69-2311 FAX 0184-69-2039

5月16日(日)は健康ウォークマラソンが開催されます
特別ゲストは深尾真美さん

五月は八塩で 各種行事が目白押し

東由利のまつりは天然色100%

5.15sat-16sun

湖上火大会/5.15
健康ウォークマラソン・黄桜満開会/5.16
観桜会/5.1～5.20

八塩いこいの森

秋田県東由利町観光協会
山形・秋田・岩手・青森・宮城・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・和歌山・奈良・徳島・高松・香川・岡山・広島・山口・福岡・佐賀・大分・熊本・鹿児島・沖縄

5月15日(土)、16日(日)は
黄桜まつりが開催されます
観桜会は5月1日から20日

植樹祭に町内外から 千五百余名が参加予定

町の活性化起爆剤の一つとして、現在八塩地区の整備事業が進んでいます。五月には様々な行事が八塩いこいの森地内で予定されています。

まず五月十三日には第五十回秋田県植樹祭が開催されます。

「育てよう地球の命と未来の夢を」をテーマに実施されるこの植樹祭では、八塩いこいの森

北東部に建設された野外ステージを中心にした野外広場で記念式典が、また、植樹会場で記念植樹が行われます。

式典では秋田県知事によるお祝いのことば、緑化推進に功績があった各団体に対する各種表彰が行われるほか、記念植樹では記念モニュメント除幕、キジ放鳥、桜植樹などが行われる予定です。

当日八塩いこいの森には約千五百余名の関係者が集まる町の一大式典だけに町民の皆さんのご協力が望まれます。

県内最終の観桜会 入り込み客に期待

毎年好評の観桜会と黄桜まつり。今年は五月一日(土)から二十日(木)までの二十日間を

観桜会期間に、五月十五日(土)、十六日(日)の二日間を黄桜まつりに定めています。

「県内最終の観桜会」として、町内外に知られているだけに、年々入り込み客の皆さんが増加しています。昨年は春先の気温が上昇する時期が早い関係もあり、観桜会期間を通じ五万三千余名の方々が八塩いこいの森で桜を楽しみました。

イベントとして十五日に恒例の湖上火大会などを、十六日には、黄桜たこあげ大会、黄桜演芸会、雪中宝さがしなどが開催予定です。

両日ともに各種出店などもあります。まつり当日は、ご家族、友人などみなさんお誘い合わせのうえ、八塩いこいの森においでください。

十六日には、十二回を数える健康ウォークマラソンが行われます。

また、テレビ局(AKT、AAB)特別番組の取材が行われます。

郵便局協力のマラソン
深尾真美さんと湖一周

十六日には、十二回を数える健康ウォークマラソンが行われます。

また、テレビ局(AKT、AAB)特別番組の取材が行われます。

郵便局協力のマラソン
深尾真美さんと湖一周

十六日には、十二回を数える健康ウォークマラソンが行われます。

また、テレビ局(AKT、AAB)特別番組の取材が行われます。

郵便局協力のマラソン
深尾真美さんと湖一周

十六日には、十二回を数える健康ウォークマラソンが行われます。

また、テレビ局(AKT、AAB)特別番組の取材が行われます。

郵便局協力のマラソン
深尾真美さんと湖一周

道路改築工事のため陣ヶ森地内で 全面通行止

場所 由利郡由利町陣ヶ森地内
地方道路(西滝沢線)

改築工事のため
期間 平成11年5月6日
平成12年3月20日

迂回路図



問い合わせは由利土木事務所道路建設第二まで
(☎22-5438)

続・畜魂

～つれづれの記

第1話「四ツ子騒動」

鈴木龍太郎・文

牛のふた子とはときどき聞くが三ツ子以上で、しかも健康に育った話は滅多にない。

本町では昭和六十年に小野武雄さん（高屋）の「よしはる二号」が三ツ子をお産し、無事に育て上げたことが話題になり新聞でも報道されている。

三ツ子以上の妊娠率について金田郁雄獣医師（現在県北家畜診療所）によれば、三ツ子で〇・〇〇一％、四ツ子になると〇・〇〇〇二％であるが、全部無事に生まれ育つ確立はもっと低いだろうと言っている。

その珍しい四ツ子を昭和六十二年九月十二日に小松幸男さん（山崎）の「はなこ」がお産し、評判になり、新聞、テレビにも取り上げられたので大方の人は知っている筈である。

町長（当時島山亮一「郎さん」）も大変喜び「無事育てよう指導せ

よ」と私に指示されたほどである。小松さん宅の牛飼いは主として睦雄おじいさんと良子おばあさんである。二人ともベテランであるが四ツ子となると戸惑うことが多かった。

先ずお乳である。元来一頭分より出ないおっぱいに四頭が吸い付くから足りない。足りないものだから四ツ子はイライラして皆で尚更強く吸う。吸われる母親は乳首を痛がるという騒動になる。

そこで畑山克司さん（島）の牧場よりジャージーの乳を分けていただき人工哺乳をすることにした。

ところがその乳を飲ませるべく、良子さんが哺乳瓶を持って牛部屋へ入ると、それに吸い付こうとする四ツ子にもみくちゃにされる始末である。結局二組に分け、一組が飲んでいる間、他の一組は可哀想だが柱に繋がれていることで一件落着いた。

牛の部屋にも困った。なにしろ一頭用の部屋の中を四ツ子がぶつかりあひながら歩き回る。大切な子供たちを万遍なく見守らなければならぬ母親はキョロキョロして落ち着かず、しかも狭いものだから子供たちが寝ると自分の寝る所がないものだから殆ど立ったまままで困った顔をしている。

そこで隣部屋も四ツ子一家に与えることにしたものの、しわ寄せを受けたのがそれまでの住人（住牛）「さくら」（舟打場、鈴木隆さん産）である。「さくら」は環境の変化は好まず、内心不満もあつ

たろうが、既得権を主張せず、実直な睦雄おじいさんが一生懸命こしらえてくれた新しい部屋に移転した。

私は小姑さん宅にときどきお伺いしていたが、二部屋ぶつ通しの広い場所では賑やかに暮す話題の四ツ子一族を横目で見ながら、無関心に草を食べている「さくら」の顔を眺めると、同じ職場にいながら片や常にもてはやされる人、片や自分なりに地味に黙々と仕事に取り組む人のいる人間社会にどこか似ているようで、いつも苦笑しながらその鼻面を撫でてやった。

順調に育った四ツ子は昭和六十二年七月九日の子牛市場で、涙を流す小松さん一家に別れを告げていった。

良子さんと先日電話でお話しした際「十年過ぎたが昨日のような気がする」と今でも四ツ子に思いを寄せているようである。

※三月三十一日をもって十四年間の町畜産指導員を退任された鈴木龍太郎さんによる、十四年の指導員生活を回想した随筆が今月から始まります。

この随筆は以前作られた「畜魂」東由利町畜産指導員つれづれの記」を補完する役割を持っています。

連載を始めるにあたり鈴木さんは「畜産家の方以外に一般の方が読んでも親しみがわく内容にしたい。東由利を離れた今、懐かしい思い出について書くことができたなら・・・」と意気込みを話していました。

林業だより

国土緑化運動

国土緑化運動は、戦中、戦後の荒廃した国土に、国民の手で緑を復活させようと昭和二十五年に始められた国民運動です。国土緑化推進機構や都道府県、市町村の緑化推進委員会が推進母体となって実施してきました。

この運動の代表的な行事には、全国植樹祭、全国育樹祭や各都道府県、市町村の植樹祭、緑の募金などがあります。

今、大気汚染や地球温暖化など地球環境に対する危機が深まってきています。森林は

「人類共通の財産である」という認識のもとに、国内の森林や緑はもろんのこと、広く地球規模で森林や緑を守っていこうとする運動が広まってきました。

このように森林に対する関心が高まるなかで、五月十三日に本町八塩いこいの森において、第五十回という記念すべき秋田県植樹祭が開かれることになりました。誠に意義深く、緑の大切さを全県各地へ発信したいと思います。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）

東由利・成立

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	43	308kg	479,874	1,482
雌	26	284kg	344,723	1,155
合計	69	299kg	428,948	1,337

●最高金額 去勢 625,800 北国7の8 紋次郎 宮桜
●最高金額 雌 484,050 北国7の8 福谷1 益美

四月家畜市場

木材共販市況

（平成十一年四月・平均価格）
四五年生から五五年生

径級	単価（石）	備考
直材30cm上	-円	
24~28cm	5,000円	
14~22cm	4,900円	
13cm下	2,800円	
曲り材	2,000~2,800円	

14~22cm（柱材）24上（中目材）の欠点のないものは完売。価格は石100円程度の上昇か横バイ。製品市況が今回復していないので好材料は見あたらない。



▲旧森林組合事務所に移動した社会福祉協議会

社会福祉協議会が移動

町社会福祉協議会が、この四月から森林組合の旧事務所に移動しました。

この事務所の移動は社会福祉協議会の環境を整備することにより、一層充実した活動を行ってほしいという、町民の皆さんから相談に行きにくいという要望が寄せられていたことなどから検討、平成十一年度の事業として行われたもの。同時に車を購入、ホームヘルパーが迅速に移動できる環境を整備しました。今後の充実した活動が期待されます。

よりよい環境で福祉向上



▲窓口を訪れる皆さんの人気も上々

元気の元はげんき券から

湯樂里券がげんき券に

「長寿社会を共に寿ぐ」を町づくりのテーマの一つに掲げている本町。今年の町づくりの一環として、四月から従来の湯樂里券内容を見直し、げんき券として再出発しました。従来は七十五歳以上の方に九十分入浴ができる湯樂里券十枚が交付されていましたが、今年度から七十歳以上の方に一日入浴できるげんき券十枚が交付される事になりました。げんき券は一日入浴できるということもあり人気も上々です。申込は福祉課（☎六九―二二一八）まで



▲大森町と特産品を通じ、交流を深めた会

大森町ワインパーティー

四月十六日、大森町休養センター「さくら荘」において、大森町ワインパーティー―新酒発表会が行われ、約百六十余名が会に出席、今年のワインを楽しみました。会場は、終始なごやかな雰囲気でした。

本町からはフランス鴨生産組合、また本町以外も、雄和町からチーズを生産している雄和トールケーゼ組合が参加、場を盛り上げました。十二月にはフランス鴨パーティーを開催するなど、本町と大森町は特産品を通じた交流を深めています。

特産品を通じ町の交流



▲会では阿部町長が町政報告

阿部町長と町づくり語らう

ふるさと創造を語る会

三月二十四日、黄桜温泉「湯樂里」で三回目の「ふるさと創造を語る会」が行われ、会関係者など三十余名が出席、阿部幸悦町長と町づくりについて語りあいました。

今回の会では、主に広報公聴、町施策全般について話し合われました。広報公聴では、「広報紙で課題、問題提起を」等の提案、施策関係では「八塩開発構想」「交通安全対策」等に対する意見が出されたほか、女性だけで懇談する機会づくり等が提案されました。

町のあっち、こっちから



▲老方地区で行われたカーブミラー清掃作業

交通安全の一環として奉仕

郵便局職員の奉仕作業

四月四日、毎年恒例の郵便局職員の皆さんによるカーブミラー清掃奉仕作業が全町一斉に行われました。

この作業は、冬期間汚れたカーブミラーを磨くことで、交通安全を図ろうと行われている清掃作業です。郵便局員の皆さんは汗を流しながら真剣に清掃作業に取り組んでいました。

春の交通安全運動は五月十一日から二十日までの十日間、全県一斉に行われます。事故は一瞬の気のゆるみから。安全運転で無事故の町を。



▲高瀬野球スポーツ少年団小松くんが誓いの言葉

健全な心身育成を誓う

町スポーツ少年団入団式

スポーツを通し健全な心身の育成をと活動しているスポーツ少年団。四月二十四日、健康増進センターで合同入団式が行われ、関係者、町内小学生二百余名が出席しました。

町内には、八塩小、高瀬小、大琴小の各スポーツ少年団、スキースポーツ少年団等があり、それぞれ活動を行っています。

本部長、教育委員長激励後、高瀬野球スポーツ少年団小松裕太郎くんが一年間心身を鍛え、充実した活動を行うことを力強く誓いました。



▲大琴小学校、入学式でのひとコマ

学校生活に胸ふくらます

各小中学校入学式

平成十一年度入学式が各小中学校で行われ、初々しい新入生が不安と期待を秘めた面持ちで新しい学校の門をくぐりました。

今年六人の新入学児童を迎えた大琴小では、佐藤和広校長にとっても新任校で初めての入学式。一人ひとりの特徴を紹介「元気で楽しく学校生活をおくり、自分のよい所を伸ばしてください」とあいさつしました。式後の新入生を迎える会では二、三年児童が劇を披露。新入生は学校生活に胸をふくらませていました。



▲クレアさんによる講演に皆さん満足

ことぶき大学活動で元気に

ことぶき大学開講式

四月二十三日、有鄰館で平成十一年度ことぶき大学開講式が開かれ、ことぶき大学生の皆さん百余名が出席、今年一年交流を深めながら、元気にがんばろうと誓い合いました。

小笠原諒治学長による式辞後、阿部幸悦町長が今年の町づくりについて講話しました。昼食をはさみ午後からはクレアさんが「イギリスからこんにちは」と題し、日本語と英語をまじえて講演を行いました。また参加者とのミニ英会話も行われ、会場は笑顔であふれていました。

東由利文化クラブ

虫歯
なんてない
も〜ん。

1歳6カ月児健診
()内は保護者



安倍翔くん
家ノ下 (正さん)



長谷山和史くん
八日町 (徳保さん)



佐藤 岬くん
下小屋 (悦郎さん)



長谷山諒くん
時雨山 (宗市さん)



小野政貴くん
袖山 (正志さん)



工藤瑞貴ちゃん
山崎 (清さん)



小松葉月ちゃん
石高 (嘉明さん)



鎌崎瑞歩ちゃん
久保 (和博さん)



小野謙太郎くん
須郷田 (晃一さん)



高橋 彩ちゃん
新町 (邦夫さん)



畠山千穂ちゃん
上通 (成春さん)



高橋省五くん
館合新田 (重保さん)



畑山元輝くん
館合新田 (次郎さん)



高橋啓汰くん
十二ノ前 (京一さん)



横山竣太くん
向田 (慶和さん)



小松実莉ちゃん
宇戸坂 (淳さん)



加藤亜美ちゃん
横渡 (郁子さん)

虫歯のない元気な子どもを育てましょう



**アイドルを
さがせ!**

ひかる
畠山皓ちゃん (1歳)
お父さん:章さん
お母さん:幸枝さん
【新町】

お話し:幸枝さん

皓という名前は、闇が明けると
いう意味合いを込めて、この子が
いることでその場が明るくなれば
いいという願いをこめて命名しま
した。
台所が好きで元気な子供。チャ
ームポイントは大きな目です。
食べものの好き嫌いは特にあり
ません。好きなものはデパート等
にあるすべり台。嫌いなものは大
きなぬいぐるみですね。
家族でなついているのはやは
り、父親と祖父ではないでしょう
か。なんといいことも言うことを聞
いてくれる人に付くようです。
最近のエピソードとして、歩け
るようになり歩くことが楽しいよ
うで、目離しできなくなりました。
将来は健康で元気な人になって
ほしいと思います。

東由利の文芸

(せせらぎ句会)

落の芽摘むこの大いなる休耕田
初蝶に風まだ荒き九十九折
杉山に木菟鳴くや春の月
野遊びの腰に馴染みし籠一つ
春寒し秣を牛にへだてなく
春疾風歩巾みだして風泪
母の郷こぼす親しさ春裕
大学へ行けると孫の便りくる

久保 高橋 典三
横渡 高橋ヒデ子
高戸屋 小松 敏雄
横小路 小松 丈介
舟打場 高橋民治郎
下小路 小松 メサ
蔵新田 小野 貞子
湯出野 小松 徳蔵

一舟の水尾春潮の紺を断つ
目を丸く語る園児や風光る
裏山の春の鳥語をひとり占め
春めくや斧を打ち込む山の音
歳月を經し深籠や種浸す
春大根友にも分け合う端境期
牡丹の芽島大臣の名札吊り
春休み孫の来る日に二重丸
足裏に畳ひやつく彼岸寺
新学期車輪が春の陽をはしく
田螺汁川連塗の古き椀
日輪に木瓜は紅白咲き分つ
家ノ下 小松 正昭
蔵新田 小笠原トミ
時雨山 吉川 葉子
中通 小松順之助
上里 小野石路子
湯出野 佐藤 正義
山崎 小松 良子
小倉 遠藤トミ子
横小路 宮野源二郎
蔵 阿部 澄子
船木 大庭喜右衛門
五海保 嶽石 レイ

愛の献血 (四月八日)

敬称略

秋田ルビコン前

▼四〇〇〇〇

伊東ユミ子 (館西) 佐藤恵理子 (本荘市) 堀川芳秀 (本荘市) 吉田幸実 (十文字町) 佐々木信幸 (大琴)

▼二〇〇〇〇

大日向睦子 (宮ノ前) 高橋ゆき子 (館合新田) 三浦純子 (本荘市) 大日向静子 (宮ノ前) 阿部早苗 (十二ノ前) 杉野文子 (横渡) 遠藤羊子 (小倉)

下郷分校前

▼四〇〇〇〇

押切信人 (新町) 遠藤克幸 (蔵新田)

▼二〇〇〇〇

齊藤芳徳 (本荘市) 小野昭枝 (中通) 小松誠 (板戸) 古関郁実 (新町) 遠藤舞子 (小倉) 畠山明子 (下通) 小松真弓 (田代) 畠山春美 (大吹川) 阿部直子 (小倉) 遠藤良恵 (新町) 畠山良子 (寺田) 遠藤貴恵 (新町) 大庭秀樹 (大琴) 渡辺正明 (田代) 横山牧子 (本荘市)

役場前

▼四〇〇〇〇

ハイスクール三年生

高校に入学して

下郷分校 一年

阿部 康幸くん



僕は下郷分校に入学して頑張ろうと思うことが二つあります。

まず、一つ目は勉強です。前々からそうでしたが、僕は勉強があまり好きではありませんでした。けれども体験入学のときにある先生が「みんなにとって、ここは他の高校に比べて距離が近い分、や

ろうと思えばたくさん勉強ができる」と話されていたのを聞き、なるほどと思いました。苦手な科目もありましたが、今はその言葉通り勉強に取り組んでいると思います。

二つ目は部活動です。僕は入学してすぐに野球部に入りました。中学校のときは美術部で、野球は小学校の頃三年間やっただけでした。ですから始めて間もない頃は、全身が痛くて毎日休むことばかり考えていました。しかし、やっているうちにだんだん楽しくなってきました。それは部の先輩たちのおかげです。なぜなら初めは怖そうなたちがたくさんいるのだから、うな思っていました。そのうち優しく、おもしろい先輩たちであることが分かったからです。当初は不安もたくさんありましたが、今は充実した毎日を送れてよかったです。

ふるさと むかしむかし

一二三

せいさく つつみ
清作 堤

むかしむかし、ずっとこのむかし、蔵新田のむかしは、ずいぶん賑わい、わすかばかりの田んぼと日雇いなどして暮している清吉、清作という親子が住んでいました。

ある年の師走も間近の寒い夜の、父の清吉は、はやり風邪がもとでポックリ亡くなったのでした。ひとりぼっちになった清作少年をかわいそうに思ふ近所のむら人は、お米や味噌、たき木など持ち寄って面どうを見るのでした。

清作は、子供ごころにも、むらのみんなの暖かい真ごころを思うと、つい熱いものがこみあがり、「何とかして、このご恩

をお返ししなければ・・・」と、けなげにも雪の降り積もった家々の屋根の雪おろしなど、熱心にお手伝いをするのでした。やがて春になり、忙しい田んぼ仕事が始まりました。開田間もない新田表といわれる田んぼは水が少なく、秋になっても鼠のしっぽのような稲穂の作しかとれず、むらのみんなは困っているのです。

そんなある日のこと、裏山の沢を流れる雪しろ水を見ていた清作少年がふと気づいたのは、小枝を揺らしながら流れるこの沢水をたくわえる堤があつたら、水の不足な田んぼが少しでもうるおえるのではと、堤づくりを思い立ちました。

それから清作少年は、田んぼ仕ごとの合い間をみて、土砂を入れて運ぶメッケザルと鍬を

使いながら、せつせと沢のせき止めすのでした。こうして耳にしたことをむら人は、鍬やモッコなど持ってきて堤づくりにかし、

一所けんめいになって働きました。そして、日ごとに仲間の輪も大きくなるのでした。

やがて、みんなの力は、小さいながらもでき上がった堤に水をたくわえることができました。

でき上がった土手の山すそに植えられた種まき桜は、沢水で満々とした堤の水面に映え、その美しさは清作少年の心のようだと、むらのみんなは、清作堤と呼び少年の報恩のころざしをたたえました。

その後、部落の小名主伊東喜左エ門が先頭になり、今の大きな堤を築くことになったということです。新緑芽吹く葉沢の山すそに大木となった種まき桜は、ことしもまた、ひととき、その美しさを見せております。

(文と絵 石波力造氏)





郷土の野草

東由利

NO.171

チチコグサ

(キク科)

文・写真 小松忠正氏

山野に群生する多年草で、地上茎で繁殖します。根生葉は線状で、長さは十センチ内外、表面は緑色をしています。裏面は綿毛があらわに白く見えます。

五月から九月、根葉中より高さ八から二十センチぐらいの綿毛のある瘦せた花柱をたて、少し光沢のある褐色頭上花を密集させてつけます。

父子草という和名は「ハハコグサ(母子草)」に対してつけられたもので、ふつくらした感じのハハコグサに対して草全体から受ける感じが男性を思わせることからつけられたものでしょう。

5月▶データ東由利

〈3/1〜3/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男.....2,525人 (△2)
- 女.....2,665人 (△16)
- 計.....5,190人 (△18)
- 世帯数.....1,388戸 (△1)

() は1月からの累計

- ・出生3人(4)・死亡9人(20)
- ・転入16人(24)・転出28人(49)

- 火災出動.....0件(2)
- 救急出動.....17件(52)
- 交通事故.....1件(3)
 - ・死亡.....0人(1)
 - ・傷者.....0人(3)
- 飲酒運転.....1人(1)
- 酒気帯び.....0人(0)

5月の行事

1〜20 八塩いこいの森観覧会

- 3 憲法記念日
- 4 国民の休日
- 5 こどもの日

- 13 第50回秋田県植樹祭
- 15〜16 第15回黄桜まつり
- 16 健康ウォークマラソン
- 23 東京東由利会総会
- 23 八塩山ふれあい登山
- 25 ことぶき大学
- 28 農業委員会



ほっとひといき

日頃、なかなか人前で話す機会がないですが、「ふるさと創造を語る会」でその機会が回ってきました。当日は「広報の現場から」と題して広報内容、取材話等を話しました。講演慣れしている人にとっては20分程度の時間は短いでしょうが、なにぶん慣れていないもので、時間配分などよく分からないまま、終了してしまいました。また年度末ということもあり、事前のパソコンによる資料作成なども大変でした。やはり、人前で話すことは慣れと度胸が必要だと思いました。(さ)

戸籍の窓口

(3月21日〜4月20日届出)

- お誕生おめでとう
- 遠藤 峻也さん (哲也) 千代子 館西
- 鈴木 彬雅さん (紀子) 友子 畑村
- 阿部 伸喜さん (十二ノ前) 雄物川町
- 加賀谷 浩子さん (宇戸坂) 宇戸坂
- 村上 幸喜さん (宇戸坂) 宇戸坂
- 村上 由美子さん (新町) 新町
- 小澤 英幸さん (新町) 新町
- 高橋 真由美さん (新町) 新町
- 横山 一也さん (下小屋) 下小屋
- 遠藤 純子さん (野田) 野田
- 佐藤 和寿さん (八戸市) 八戸市
- 近藤 美穂子さん (新町) 新町
- 渡辺 慎也さん (本庄市) 本庄市
- 小野 貴子さん (本庄市) 本庄市

●ごめい福をお祈りいたします

- 大庭昇之助さん (79) 昇・父・船木
- 佐々木フミさん (74) 信夫・母・田代
- 小野 キオさん (79) 義次・養母・土橋
- 小野タケミさん (80) 弥一・母・新町
- 佐藤 清一さん (45) 清治・子・黒
- 阿部シゲオさん (78) 恵美子・母・杉森

植樹祭に先駆け 仮植樹



▲一本一本気持ちをこめて仮植樹を行った

四月十九日、花曇りの空、八塩いこいの森の県植樹祭予定地で桜苗木の仮植樹が実施されました。この日、植樹したのは、町関係者、町民の皆さん、建設業協会の皆さんなど百人余り。植樹祭当日は限られた時間内で式を進行する都合上、事前に植えられたものですが、関係者は手順の説明を受けながら、一本一本丁寧に植えていました。

当日植えられた桜の木は、昨年春、財団法人日本さくら会から、平成十年度の「さくら功労者」として町が表彰を受けた折、副賞として町に贈られた五百本です。仮植樹に先がけて、阿部幸悦町長は「三十年後、四十年後の姿を思い浮かべながら植えてほしい」とあいさつしました。

社会福祉協議会に小笠原順さん(土場沢)、阿部清和さん(蔵新田)、佐々木信夫さん(田代)、畑山昭一さん(島)から芳志が届けられました。ありがとうございました。

●おわびと訂正
広報四月号戸籍の窓口出生欄において、島山徳高さんが島山高橋高さんになっていました。おわびして訂正します。

農耕用トラクター事故にご注意を

がらからい内、防安全確認は必ずしなさい。この機会に、県内各地で発生しているトラクター事故の危険性を再確認し、安全運転を心がけてほしい。また、トラクターの運転には、必ず運転免許を取得し、安全運転を心がけてほしい。

(東由利駐在所)